

安全安心で魅力ある学び舎づくりに向けた取組について

秦野市教育委員会

本市では、各校と協働して「安全安心で魅力ある学び舎づくり」を進めており、特に子どもたち一人ひとりの「学校が楽しい」「勉強がわかる」という学習意欲の基盤となる非認知能力を育むため以下の取組を強化しています。

引き続き読書活動を中心として家庭・地域の皆様にもご理解とご協力をお願いいたします。

1 学校と教育委員会の取組

(1) 義務教育学校制度導入等を目指した魅力ある学び舎づくり

現在本市では、全ての小中学校に、地域や保護者の方々のご意見を取り入れた学校づくりを目指す「学校運営協議会制度」を導入しているほか、市内3中学校区

(北・東・大根)において、小学校と中学校が一貫して子どもたちを支援する「義務教育学校制度導入」の準備を進めています。

また上智大学や東海大学と連携したユネスコスクールや全ての子どもたちが同じ場所で育ち学ぶインクルーシブな学校づくりや通級指導教室、学校以外の新たな学びの場を求める子どもたちへの支援を行う新たな学びサポート相談会、巡回型日本語支援教室「ぷれは」等具体的な取組を進めています。改めて各事業については市のホームページや学校だより等でもお知らせいたしますので、ご覧ください。

＜義務教育学校制度導入＞

<https://www.city.hadano.kanagawa.jp/soshiki/16/1073/3/2653.html>

＜新たな学びサポート相談会＞

<https://www.city.hadano.kanagawa.jp/kosodate/mokuteki/8/7/1/4026.html>

(2) 子どもたちの学習意欲を引き出す新たな学びのスタイルの推進

現在各校では教育活動全体を通じて、「ほめて、認めて、伸ばす」等、子どもたちへの関わり方を大切にするとともに、一人ひとりの学習の定着度や学習意欲の変化にも着目し、「学校が楽しい、勉強がわかる」学び舎づくりを目指しています。そのため、テスト等の結果を、すぐに一人ひとりの支援に生かすテストのデジタル化(CBT)、社会や地域の課題解決等に取り組む探究型学習、一人ひとりの学習課題解決を目指した学習時間の設定(モジュール)等新たな学びのスタイルの導入を図っています。

(3) デジタルの雨から子どもたちを守り一人ひとりの夢を育む読書活動の推進

本市では、全ての学びの土台となる読解力の向上を図るため、毎月第一月曜日を市内全校で読書活動を推進する「よむよむDAY」とし、市内全ての小中学校で朝読書や読み聞かせ等、読書活動の充実化を進めています。

2 家庭でお願いしたいこと

(1) 読書活動と家庭学習の習慣化

各ご家庭でも読書活動や家庭学習の習慣化への御支援をお願いいたします。特に東北大学応用認知神経科学センターと連携した取組では、科学的な検証結果に基づき「読書が脳と心を育む」との助言をいただいています。お子様が、多くの本と出会う機会創出とともに、家庭学習や読書に励む児童生徒を褒め認める声掛けをお願いします。

(2) OMOTANラーケーションDAYの活用

本年8月31日より保護者等の引率のもと、平日に校外で様々な体験活動に挑戦して子どもたちの学ぶ意欲を引き出すラーケーション制度（ラーニングとバケーションを組み合わせた新しい用語）を導入しました。地域の魅力再発見にもつながり、お子様の学習意欲を引き出すようご活用ください。

＜OMOTANラーケーションDAYについて＞

<https://www.city.hadano.kanagawa.jp/soshiki/16/1076/13927.html>